

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便利

お知らせ

＜PPP事業部＞

広島市留学生会館で日本伝統文化体験イベント“夏まつり”を開催

日本の夏まつりの風情を経験・堪能していただくため、綿菓子やポップコーンを作り、それぞれ先着 50 名様に提供いたします。また、金魚のおもちやすくい、輪投げ、そしてうちわにお絵描きをしていただくなど、楽しいイベントもご準備しております。みなさまのご参加をお待ちしております。

開催日時：2026 年 8 月 9 日（日）13:00～16:00

場所：広島市留学生会館 2 階ホール



＜SP事業部＞

8月は、試験会場設営を2件、オープンキャンパス設営、子供向けのイベントの合計4件の設営業務を受注しています。屋外での設営業務中の熱中症対策を十分に行い、関係者の体調管理を行います。

＜クレンリネス事業部＞

第62期に入って3か月が経過し、クレンリネス事業部では、労災事故が2件、物損事故が1件発生しています。日々業務に取り組んでいただいている皆様も、今一度5SとABCの確認・徹底を行い、1件でも事故を減らせるよう、皆で協力していきましょう。

＜FM事業部＞



設備管理の事業所で重大な労災事故が発生しました。詳細については、既に「クラス別トレーニング」により、FM事業部の現場には情報共有していますが、脚立に上がって天井内の作業中に頭部を負傷しました。休業を伴う大怪我にならなかったことは不幸中の幸いではありますが、**ヘルメットを着用していなかったことが原因であり、ひとつ間違えば大事故に繋がっていました。**

「急いでいたから」「狭い場所で邪魔だから」などの理由でヘルメットを被らなかったことにより、取り返しのつかないことになれば、本人や家族の生活は一変し、会社にも多大な負担をかけることになります。**皆さん一人ひとりの安全意識と行動が、重大事故の防止に直結します。保護具の着用を習慣とし、5SとABCの実践をよろしくお願いします。**

＜セキュリティ事業部＞

巡回警備で施設の安全を守る

梅雨から台風シーズンを迎え、大雨や強風などの影響を受けやすい時期となりました。セキュリティ事業部では、巡回警備において施設や設備の異常の有無をこれまで以上に注意深く確認するとともに、雨漏りや浸水、飛散物などの異常を早期に発見し、迅速な報告・初動対応を徹底しています。



＜東京支店＞

先日、グループ会社コモン計装の社員が用務先で心筋梗塞を発症し倒れました。居合わせた方々が胸骨圧迫などの応急処置を行い、救急搬送後の治療で一命を取り留めました。執刀医から「心臓マッサージがなければ救命は難しかった」との説明があり、初期対応の重要性を改めて感じさせられました。

普通救命救急などの講習が今は一般的になり、私も受講者カードを所有していますが、実際の場面で命を守る力になることを強く実感した出来事でした。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から手順を思い返しておくことの大切さを感じています。

右のQRコードから、[総務省消防庁の「応急手当WEB講習・普通救命講習編」](#)にアクセスできます。ぜひご活用ください。



＜安全衛生管理委員会＞



7月も後半となり、本格的な夏がやってきました。年々気温が高まっていく中、それに比例して熱中症で救急搬送される方も増加傾向にあります。

熱中症は、対応を間違えれば命に関わる恐ろしい病気です。

屋外だけでなく、屋内においても熱中症を発症するリスクがあります。エアコンを有効に活用し、しっかりと睡眠をとるようにしてください。

寝不足やバランスの悪い食生活は、熱中症を発症するリスクが高くなると言われています。

のどが渴いていなくても、適宜水分補給を行い、

体調管理には十分注意してください。これから約2か月は厳しい暑さが予想されます。熱中症対策をしっかり行い、元気に乗り切ってまいりましょう。ご安全に！

＜磨種（とぎぐさ）＞

（株）オオケンは第61期株主総会を5月28日に終え、第62期決算年度に入りました。年度末を毎年3月末とし、国・県・市の決算年度と合わせて以来、23年目となります。

会社運営においては、予期せぬ出来事が起こることがあります。だからこそ、私たちは一つひとつの出来事を教訓として受け止め、原因を見つめ直し、再発防止に努めることが重要だと考えています。**日々の小さな気付きや確認、そして互いを思いやる姿勢が、思わぬ損失や事故を未然に防ぐ力になります。**また、**いざという時に備えた平時からの備えこそが、会社の未来を守る土台になるはず**です。

これからも、社員一人ひとりが安全と信頼を大切に、安心して働ける環境づくりに努めてまいります。今ある力を次の挑戦に繋げられるよう、着実に歩みを進めていきたいと思っております。

引き続き、皆様のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、話は変わりますが、今年4月の公的年金受給額は、筆者にはやや少なく感じられましたが、6月15日には大きく増えたように感じられました。もっとも、その背景には、制度改正や景気動向ではなく、年金受給年齢を75歳まで遅らせる「繰り下げ受給」による影響があったようです。

このように、公的年金は受け取り方によって金額に差が生じますが、若い世代が安心して暮らせる社会を築くことは、私たちにとって大切な責務です。そのうえで、年長世代には、これまで培ってきた経験と知恵を次の世代へと引き継ぎ、若い人々が自らの力で未来を切り拓いていけるよう支える役割もあるものと考えます。年長者は、社会全体の活力を損なうことのないよう、若い世代の成長を静かに後押ししていくべきではないでしょうか。